

# 鯖江市議会報

第239号

令和3年  
11月25日発行

手話で  
話しています

- 3つの特別委員会が活動中 ..... 2
- 一般質問 ..... 8
- 表紙写真の募集 ..... 12



鯖江市議会をもっと詳しく！

# 3つの特別委員会が活動中です

## 議会等改革推進特別委員会

議会の機動性を高め、市議会としての市政のチェック機能の充実・強化や、専決処分のあり方を精査・検討すること、また、「通年議会（通年会期制）」についても研究するなど、議会本来の責務を果たすことを目指します。

### 【構成委員】

|      |    |    |
|------|----|----|
| 委員長  | 帰山 | 明朗 |
| 副委員長 | 木村 | 愛子 |
| 委員   | 菅原 | 義信 |
| 委員   | 丹尾 | 廣樹 |
| 委員   | 江端 | 一高 |
| 委員   | 林下 | 豊彦 |

## 公共交通整備特別委員会

鯖江市の将来を見据えた、総合的な交通ネットワーク構築の推進を目的とし、北陸新幹線敦賀開業に伴う並行在来線、福井鉄道、コミュニティバスなど、公共交通の環境整備等について、市民の皆様の声をお聞きしながら、市民に親しまれ、利便性の高いまちづくりの方向性の提案等を行います。

### 【構成委員】

|      |    |    |
|------|----|----|
| 委員長  | 空  | 美英 |
| 副委員長 | 江端 | 一高 |
| 委員   | 林  | 太樹 |
| 委員   | 奥村 | 義則 |
| 委員   | 福原 | 敏弘 |
| 委員   | 大門 | 嘉和 |

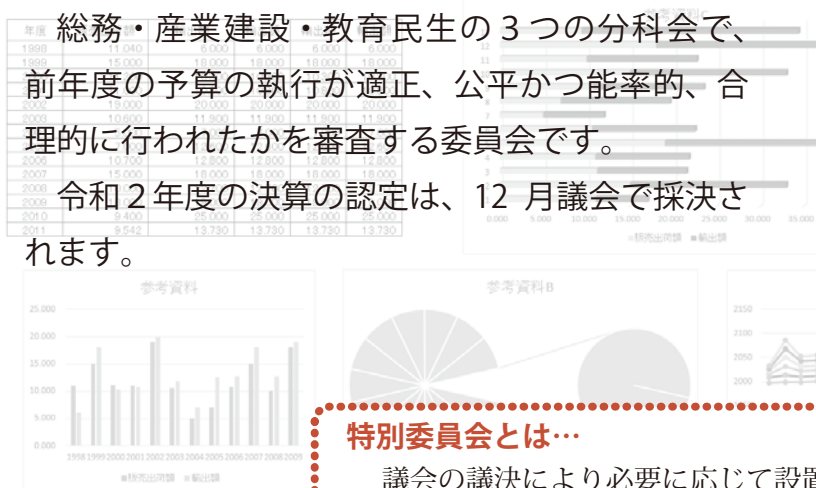
## 決算特別委員会

総務・産業建設・教育民生の3つの分科会で、前年度の予算の執行が適正、公平かつ能率的、合理的に行われたかを審査する委員会です。

令和2年度の決算の認定は、12月議会で採決されます。

### 【構成委員】

|      |               |    |
|------|---------------|----|
| 委員長  | 佐々木           | 一弥 |
| 副委員長 | 空             | 美英 |
| 委員   | 議長・監査委員を除く全議員 |    |



### 特別委員会とは…

議会の議決により必要に応じて設置される委員会で、複数の委員会にまたがる案件や、特に重要な案件であると認められた案件について、審査・調査することを目的としています。





# 第431回 9月定例会

【会 期】 8月25日～9月17日(24日間)

【議決内容】 陳情1件を採択、市提出議案3件を可決、市会案2件を可決、人事案件3件を異議なしとしました。  
3つの常任委員会の審査内容は、p.6～p.7に、全議案の議決の詳細は、p.11に記載しています。

## ポイント!

### 補正予算案を審査 令和3年度 一般会計補正予算 第7号(議案第50号)

9月定例会に提出された補正予算案の総額は8億1,090万円で、そのうち6億円は、財政調整基金への積立金、1億6,000万円は、昨年に続けて実施された、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受ける眼鏡産業、および越前漆器産業の販売促進事業費でした。

このほか、今回の補正予算では、市の情報管理システムの更新(⇒p.6)や、農業後継者の育成事業(⇒p.7)、冬期スクールバスの運行補助など(⇒p.7)多岐にわたりました。

それぞれの事業は、各常任委員会で審査されています。詳細は、p.6～p.7をご覧ください。

#### ※ 補正予算とは…

本来は、年度当初に成立した予算で収支をやりくりするべきですが、災害や政策の変更などにより、収支に過不足が生じた場合に、金額の補正をするものです。



## 「聴覚障害者友の会と議会との語る会」を開催しました

例年、市民の皆様と議員の意見交換の場として、議会報告会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、昨年度から開催を見送ってまいりました。

しかし、感染状況の推移を見ながら、市民の皆様の声をお聞きする場を確保するため検討を重ね、規模を縮小した上で開催することに決定しました。

久しぶりの開催は、令和3年11月6日(土)。参加者を鯖江市聴覚障害者友の会の皆様に絞り、友の会の会員13名と、市議会議員8名が参加し、手話通訳をはさみながら意見交換を行いました。

意見交換では、手話言語条例の制定以来、聴覚障害者への理解が進み始めたのを感じるという実感の声が聞かれました。その他、観光地に手話通訳者がいることで観光PRにもつながるといった提案や、災害時には、避難所の手話通訳者の不在といったコミュニケーション方法への不安など、様々な意見がありました。

これに対し、議員からは、手話通訳者を増やす取組の検討や、近く開催される県の防災訓練での対応等を確認したいとの意見が出されていました。



語る会の様子

### 鯖江市 聴覚障害者 友の会

鯖江市聴覚障害者友の会は、平成10年、当時の「障がい者プラン」をきっかけとして、聴覚障害者の声を行政に届け、手話の理解を深め、鯖江を暮らしやすいまちにするために設立されました。

令和2年に施行された、「鯖江市手話言語条例」制定の際には、検討委員会の委員として参加し、現在も、共生社会の実現に向けて活躍されています。

# 市会案第3号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書について

可決

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

## 記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月17日

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、  
経済産業大臣、経済再生担当大臣

## 意見書とは…

市議会は、国会や行政庁に対し、市の公益に関する事柄について意見書を提出することができます。意見書を提出する要因は、大きく2つに分けることができます。

①地域住民等からの陳情や請願によるもの

②市議会独自の意思によるもの

今定例会の、市会案第3号は上記②に、市会案第4号は、上記①にそれぞれ該当します。



新型コロナウイルスの出現により、今、地方自治体には新たに多くの行政需要が発生しています。ワクチン接種体制の構築、防疫体制の強化、「新しい生活様式」への変化を余儀なくされた市民の日常生活から発生する問題など、あらゆる課題に即時の対応が求められています。それと同時に、医療・介護など社会保障への対応、子育て支援策の充実、地域交通の維持・確保など、少子・高齢化の進展とともに、従来からの行政サービスに対する需要も、これまで以上に高まりつつあります。しかし、現実には公的サービスを担う人材は不足しており、疲弊する職場実態にある中、近年多発している大規模災害、またデジタル・ガバメント化への対応も迫られています。

こうした地方の財源対応について、政府はいわゆる「骨太方針2018」に基づき、2021年度の地方財政計画までは、2018年度の地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保してきました。しかし、新型コロナウイルスへの対応により巨額の財政出動が行われるなか、2022年度以降の地方財源が十分に確保できるのか、大きな不安が残されています。

このため、2022年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、コロナ禍による新たな行政需要なども把握しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう、政府に以下の事項の実現を求めます。

## 記

- 1 社会保障、防災、環境、地域交通、人口減少、デジタル化対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること。
- 2 新型コロナウイルス対策として、ワクチン接種体制の構築、感染症対応業務を含めた、より全体的な保健所体制・機能の強化、その他の新型コロナウイルス対応事業、また地域経済の活性化まで踏まえた、十分な財源措置を図ること。
- 3 子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、地方単独事業分も含めた十分な社会保障経費の拡充を図ること。また、人材を確保するための自治体の取り組みを支える財政措置を講じること。
- 4 デジタル・ガバメント化における自治体業務システムの標準化については、自治体の実情を踏まえるとともに、目標時期の延長や一定のカスタマイズを可能とするなど、より柔軟に対応すること。また、地域経済を活性化させるためにも、デジタルシステムの標準化による大手企業の寡占を防止すること、また地域での人材育成を図るなど、地域デジタル社会推進費の有効活用も含めて対応すること。
- 5 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている1兆円について、引き続き同規模の財源確保を図ること。
- 6 2020年度から始まった会計年度任用職員制度について、今後も当該職員の処遇改善が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなどして、更なる財政需要を十分に満たすこと。また、処遇改善額が明確となるよう配慮すること。
- 7 特別交付税の配分にあたり、諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対して、その取り扱いを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこと。
- 8 森林環境譲与税の譲与基準については、より林業需要の高い自治体への譲与額を増大させるよう見直すこと。
- 9 地域間の財源偏在性の是正に向けては、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な改善を行うこと。また、コロナ禍において固定資産税の軽減措置等が行われたことはやむを得ないものの、各種税制の廃止、減税を検討する際には、地方6団体などを通じて、自治体の意見や財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないように対応を図ること。
- 10 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図り、市町村合併の算定特例の終了への対応、小規模自治体に配慮した段階補正の強化など対策を講ずること。
- 11 地方交付税の法定率を引き上げるなど、引き続き、臨時財政対策債に頼らない地方財政の確立に取り組むこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和3年9月17日

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、  
内閣府特命担当大臣（地方創生）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）



# 総務委員会

議案第50号

令和3年度鯖江市一般会計予算 第7号

## 実質収支額が増加した理由は？

**問** 令和2年度一般会計の実質収支額が10億円を超えており、例年より多い。その理由は。

**答** 主な理由としては、コロナ対策事業の実施により、令和2年度の歳出予算額が前年度の268億円余に対し、110億円増の378億円余と予算規模が膨らんだことや、コロナ禍による医療、福祉系の各種サービスの利用控え、コロナ対策事業費や道路除雪費の執行残等によるものである。

※実質収支額・・・歳入決算総額から歳出決算総額を引いた額から翌年度に繰り越すべき財源を引いた額。



議案第50号

令和3年度鯖江市一般会計予算 第7号

## 電子市役所整備事業とは？

**説明** 現在、本市が使用している文書管理、財務会計等を管理している情報システムの使用期間が令和3年度末で終了する。このためデジタル技術を最大限に活用した新たな情報システムの導入事業として、今年度から令和9年度までの期間、4,587万円を限度額とした債務負担行為の補正を行うものである。

**問** 国はデジタル庁を設置し、デジタル化を強力に推進している。メリットはよく聞かもの、自治体にとって懸念されるデメリットは。

**答** アナログからデジタルへの移行期間は、業務量は増える可能性がある。また、行政サービスの観点からは、様々な申請手続きがオンラインで可能となり利便性が向上する一方で、デジタルデバインドが生じる可能性もあり、格差解消に向けて取り組んでいるところである。

※デジタルデバインド・・・情報技術の恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生じる格差。情報格差とも。

## 陳情第1号 「地方財政の充実・強化を求める意見書の採択について」

**陳情内容（抜粋）** いま地方自治体には、新型コロナワクチン接種体制の構築、防疫体制の強化、「新しい生活様式」への変化に伴う市民の日常生活の問題など、あらゆる課題に即時の対応が求められている。それと同時に、少子・高齢化の進展とともに、従来からの行政サービスに対する需要も、これまで以上に高まりつつある。

しかし、現実には公的サービスを担う人材は不足しており、疲弊する職場実態にある中、近年多発している大規模災害、またデジタル・ガバメント化への対応も迫られている。こうした地方の財源対応について、新型コロナウイルスへの対応により巨額の財政出動が行われており、2022年度以降の地方財源が十分に確保できるのか、大きな不安が残されている。

このため、2022年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍による新たな行政需要なども把握しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすため、地方自治法第99条に基づき政府への意見書提出を求める。

**少数意見** 要望項目のうち、「合併市町村の財政運営への対応」については、市町村合併の算定特例が終了した後も続いており、今後も引き続き対応が必要であるとは思わない。

**多数意見** 地方財政の充実・強化について、国に対して全国の地方議会が一斉に求めていくということは、全国の地方自治体にとって、とても大事なことであり、提出し続けることが重要となってくる。



※国の関係機関への提出が可決された意見書は、P.5に全文掲載。

# 産業建設委員会

議案第50号

令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第7号

## 農業後継者を確保する取組は？

**説明** 農業者の高齢化・減少対策の一環として、地域の中心経営体等である先代から経営を移譲された、要件を満たす後継者に対し、100万円を上限に、経営発展に向けた事業費を補助する。

**問** 1件100万円の補助というのは、農業用設備に比べあまりに安い。新型コロナウイルスの影響で農産物の価格が下落する中、市には、補助金だけではなく、農家とより密接に関わり合う中で、手厚い経営支援や助言も行ってもらいたい。

また、大規模農業のための基盤整備など必要と考えるがどうか。

**答** 先を見据えた販売戦略や、耕作放棄地の活用等の支援策も検討を行っており、補助金のみに頼ることなく、農家への支援を行っていききたい。

また、大規模農業のための基盤整備については、農林部門と土木部門での連携を確認しつつ、情報共有を密にして進めていきたい。

議案第50号

令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第7号

## 除雪作業の円滑化に向けた取組は？

**説明** 市の除雪車両にGPS端末を搭載し、県と連携した「位置情報管理システム」を構築することで、県と市の除雪状況を、パソコン上で瞬時に確認できるよう一元管理する。

**問** 幹線道路となっている県道の除雪が、大雪でなかなか進まない場合に、市がその除雪を行う、というような連携が強化されるということか。

**答** これまでも、除雪の遅れている県道を、市が支援するというような連携を行ってきたが、本システムの導入により、それがさらに円滑化されるものと期待している。県と市が、お互いに進捗状況を共有しながら、地域の除雪がスムーズに行えるよう、システムを活用していきたい。



効率的な除雪作業を

# 教育民生委員会

議案第50号

令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第7号

## 冬期スクールバス補助、なぜ減額？

**問** 新型コロナ感染症対策として、中学校の冬期スクールバスの密を避けるため、バスの車両を追加・変更するなら、補助額は増えるはずだが、なぜ鯖江中学校の補助額は減り、バス台数も減ったのか。

**答** 昨年度、7台で運行していたバスのうち、小型バスの乗員を大型バスに乗車してもらうことで本数を減らし、補助額も減となった。

**意見** 鯖江中学校の保護者から、運行前の現段階で、利用者数が20名近く増えること、小型バスで送迎をしていた道に、大型バスは入れないことを聞いている。

今後、運行台数やルートが確定し、予算が不足するようなことがあれば、その段階で追加補正をするなどの検討を願いたい。



三密を避けよう！

議案第50号

令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第7号

## 公演中止を決定した主な要因は？

**説明** 新型コロナウイルス感染拡大を受け、市内施設の休館および利用制限を行った。これに伴い、文化センターで5月12日に開催予定されていた公演の中止要請をしたことに伴う損失補償費を行うものの。

**問** 緊急事態宣言下であっても、公演は可能だった。キャンセル料が発生しても中止した要因は。

**答** 市内での感染拡大を心配する声が市に多数寄せられていた。感染リスクをゼロにし、市民の健康と安全安心を守ることを第一と考えた。



施設の利用制限を行っていた文化センター

ここが聞きたい！

# 一般質問

## 一般質問とは…

市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に考えを聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。



※ 新型コロナウイルス感染予防のため、時間を30分に制限するとともに、会派ごとに人数を制限して実施しました。

|     |                                                                                   |      |                                                                         |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------|
| p.8 | えはた かずたか<br><b>江端 一高 議員</b><br>1 「育てやすい 暮らしやすいまち」について<br>2 環境政策(ごみ問題)について         | p.10 | ふくはら としひろ<br><b>福原 敏弘 議員</b><br>1 経済対策と教育現場におけるコロナ対応について                |
|     | はやしした とよひこ<br><b>林下 豊彦 議員</b><br>1 点字ブロックについて<br>2 めがね支援キャンペーンについて                |      | そら よしひで<br><b>空 美英 議員</b><br>1 文化センター公演中止損失補償について<br>2 ごみ減量化と資源化について ほか |
| p.9 | えんどう たかし<br><b>遠藤 隆 議員</b><br>1 成年後見制度について                                        |      | きむら あいこ<br><b>木村 愛子 議員</b><br>1 安全・安心な暮らし                               |
|     | やまもと としお<br><b>山本 敏雄 議員</b><br>1 コロナ禍における小中学校の2学期以降の対応について<br>2 幼保小中学校の給食費について ほか |      |                                                                         |

## 一般質問を見てみよう！

### 市役所の議場で

議会は、市役所の議場で傍聴することができます。  
(コロナ禍のため、傍聴できない場合があります。)

### 丹南CATVで

丹南ケーブルテレビで生中継・録画放送を行っています。

### YouTubeで

YouTubeの鯖江市議会チャンネルでも、動画を配信しています。



※ 次回開会日は、最終ページでご確認ください。



志清同友会  
えはた かずたか  
**江端 一高 議員**

### 育てやすい暮らしやすいまちについて

**問** 人口減少傾向にある本市の地理的特性と、これまでの対策、これからの取組や目指すべき将来像を分かりやすく示していただきたい。

**答** 市長 多種多様な個性を生かしながら、よりよい未来に向けて全ての人が挑戦できる環境を育み、産業の活性化やまちの魅力向上につなげることを目指す。

### 本市のごみ問題について

**問** ごみの有料化の前に取り組むべき減量化の目標と期限、未達の場合に待ち受けるものは何か。

**答** ごみの減量化政策が今のところ減量化につながっていない。有料化は手段であり目的ではない。燃やすごみを減らすことができれば有料化の必要性はない。そこで市は燃やすごみに含まれる資源物を減らすため、ごみ袋への記名を考えている。自分の出すごみに対する責任と分別意識の向上につなげたい。



ごみ分別の意識向上を





志清 同友会  
はやしした  
林下 豊彦  
とよひこ  
議員

## 点字ブロック

**問** 視覚障がい者(全盲の方は2〜3割ほどで残りの方は弱視と言われている)が利用する点字ブロックが、床と同系色で認識しにくい場所や点字ブロックの上に足マットが敷かれている場所がある。点字ブロックの設置や運用の指針はどうなっているか。

**答** 視覚障がい者の利便性を向上できるように施設の整備を行っていく。

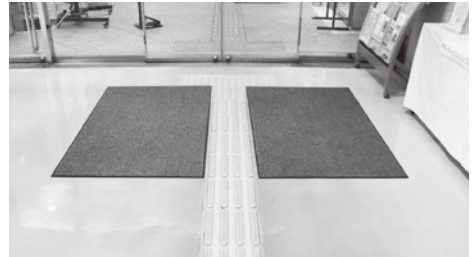
**意見** デザイン優先にならない明確な基準と運用指針を持ってほしい。

## 眼鏡販売促進キャンペーン

**問** 眼鏡販売促進キャンペーンでLINEを登録したが、その後、鯖江市のイベント情報や

眼鏡の案内が一切届いていない。予算審議での説明と異なるが、実行されていない理由は。

**答** LINEの個人情報保管についての問題があったほか、コロナ禍での活動の制約による発信できる情報の少なさもあって、情報発信ができなかった。今後は鯖江の眼鏡に関する情報の発信など、積極的に活用していく。



デザイン優先でない正しい点字ブロックの設置を



公明党  
えんどう  
遠藤 隆  
たかし  
議員

## 成年後見制度の必要性と整備、広域化について

**問** 成年後見制度利用促進基本計画の策定にあたり、鯖江市として、この制度を利用した方がよいと思う人数の把握は。

**答** この制度の利用が必要と想定された事例数と本人契約により日常的金銭管理等を行う日常生活自立支援事業の利用者数の合計により、最低100名と想定される。また、日本成年後見法学会の学説によると、総人口の1%の693名の最大数が考えられる。認知症高齢者、療育手帳A判定者、精神障害者保健福祉手帳1級者等は2,478名であることから、今後、利用者は増加していくと想定される。

**問** 今後、成年後見制度が地域連携ネット

ワークの中で重要視されてくるなら、事業の広域化も視野に入れていくべきと思うが中核機関の整備と広域化についての市の考えは。

**答** 鯖江市では、嶺北広域による成年後見制度利用促進基本計画の中で、中核機関の開設や地域連携ネットワークの構築に向けた準備を進めている。成年後見利用者の増加が見込まれる中、弁護士などの専門職後見人の数には限界があることから、市民後見人の養成を図り、広域連携による中核機関を設立することで、多数の市民後見人の養成が可能となる。また、広域中核機関において専門知識の蓄積や家庭裁判所、弁護士会等との連携体制を構築することにより、後見制度利用の促進につなげられることを期待している。

## 学校給食費の無償化の再開を！

**問** 昨年度は学校給食費の無償化が行われたが、本年度は約半額分を保護者が負担している。コロナ禍における子育てに優しいまちづくりの一環として、子育て中の家庭を直接支援する給食費の全額無償化を再開すべきではないか。

**答** 昨年度は、国の地方創生臨時交付金を活用して給食費の無償化を行った。本年度においては、昨年度に引き続き、子育て世代の負担軽減につなげたいとして給食費の約半額分を市が助成している。しかしながら、全額無償化の場合は約4億円を要することになり、本市財政負担が大きくなることから、子育て世帯の臨時的な負担軽減策として実施している。子育てに優しいまちづくりの推進に寄与する今後の子育て支援策、

また、コロナ禍に対応する施策について今何が必要とされているか、住民ニーズを把握した上で具体的、効果的な施策を検討していきたいと考えている。

### そのほかの質問

- ・2025問題への市の取組について
- ・学校と保護者の連携について



学校給食の無償化の検討を



民主クラブ  
やまもと  
山本 敏雄  
としお  
議員



志清同友会  
福原 敏弘  
ふくはら としひろ  
議員

## 経済対策と教育現場におけるコロナ対応

**問** コロナ禍において、鯖江市はどのような経済対策が必要と考えているか。

**答** 短期的な対策では、資金調達支援、消費喚起施策の実施を望む企業の割合が高い。資金調達支援としては、借入金の返済条件変更も含めた早めの資金繰り対策を呼びかけ、金融機関との連携の下で、各企業の現状に寄り添った資金調達支援を継続していきたい。また、消費喚起施策としては、ふく割アプリを使用したさば割クーポンで、市内小規模店に限定した消費喚起を行った。中長期的には、国が進める方向性に従い、

業態変化、業態転換、D Xの推進、環境配慮商品の開発等、積極的な企業活動への支援のほか、経営体質の改善のための経営相談、指導体制の強化、本市の産業構造を支えるサプライチェーンの維持に必要な事業継承についても、県や商工会議所と連携しながら取り組んでいきたい。

### その他の質問

文科省が策定した休校判断ガイドラインについての見解、および園児がコロナに感染した場合の市の対応と権限について



コロナ禍での経済対策は



市民創世会  
空 美英  
そら よしひで  
議員

## 公演中止損失補償について

**問** 5月12日に文化センターで公演予定だったミュージカル「刀剣乱舞」が、コロナ禍のため中止となったが、その損失補償を、一般財源から支出することになった経緯と理由は。

**答** 県が独自の緊急事態宣言を発出したことを受け、市は公共施設の休館および利用制限の措置を取り、感染拡大防止の観点から主催者に対し公演中止を要請し5月1日付で主催者から中止が発表された。損失補償の支出については、今回の公演中止が施設所有者である市の指示により決定された事案であるため、市において負担すべきと判断し、9月補正予算に計上した。

**問** 公演を楽しみにしていた市民もいたはずだが、市長の考えは。

**答 市長** 市民の命と健康を守るため、最善の判断であったと考えている。しかし、予定外の経費が発生したことは大変申し訳なく思う。この件を教訓とし、公共施設における運営基準を定め同様の事態を招かないよう管理運営にあたりたい。



利用制限されていた文化センター



市民創世会  
木村 愛子  
きむら あいこ  
議員

## 安全・安心な暮らしについて

**問** 自治会が助成を受けて購入した除雪機で作業した場合、市道除雪業務委託と同一単価にすべきと思うが、所見を。

**答** 今年の大雪のような場合、地域ぐるみによる除雪体制を強化持続するためにも、乗用除雪車による市道除雪の費用について、土木予算で見ることを含め、今後、補助制度の見直しを検討する。

**問** 医療的ケア児支援法施行後、来春に向けて市の動きは。

**答** 医療的ケア児の日常生活および社会生活を社会全体で支えることをはじめとする同法の基本理念にのっとり、家族の相談に丁寧に応じる中、学校看護師の配置等の必要

な措置を講じる。医療・福祉関係機関との連携を強化し、個人情報保護に配慮しつつ、個々の状況に応じた適切な支援を行う体制の充実に努める。

### その他の質問

放課後デイサービス事業所での虐待が判明した場合の、行政の役割責任の所在について等。



今年の大雪の道路

# 議案の結果・賛否

○…賛成、×…反対、欠…欠席をあらわします。

| 議案番号 | 件名 |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 付託委員会 |      |
|------|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|------|
|      | 林下 | 江端 | 大門 | 空  | 山本 | 佐々木 | 福原 | 帰山 | 奥村 | 石川 | 林  | 遠藤 | 木村 | 平岡 | 丹尾 | 末本 | 水津 | 玉邑 | 菅原    | 議決結果 |
|      | 豊彦 | 一高 | 嘉和 | 美英 | 敏雄 | 一弥  | 敏弘 | 明朗 | 義則 | 修  | 太樹 | 隆  | 愛子 | 忠昭 | 廣樹 | 幸夫 | 達夫 | 哲雄 | 義信    |      |

## 【8月25日提出・9月17日議決】

|       |                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |
|-------|-------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|
| 陳情第1号 | 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 総務 |   |
|       | ○                       | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ×  | ○ |

↑ 「採択」し、国に意見書を提出することの賛否

|        |                       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |          |
|--------|-----------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----------|
| 議案第50号 | 令和3年度鯖江市一般会計補正予算(第7号) |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 総務・産建・教民 |
|        | ○                     | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決       |
| 議案第59号 | 鯖江市個人情報保護条例等の一部改正について |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 総務       |
|        | ○                     | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決       |
| 議案第60号 | 鯖江市手数料徴収条例の一部改正について   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 総務       |
|        | ○                     | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決       |

## 【9月17日提出・同日議決】

|                 |                          |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|-----------------|--------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 議案第61号<br>～第63号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 総務 |
|                 | ○                        | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  |

|        |                                      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |
|--------|--------------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 市会案第3号 | コロナ禍による厳しい財政状況に対し地方税財源の充実を求める意見書について |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 総務 |    |
|        | ○                                    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決 |
| 市会案第4号 | 地方財政の充実・強化を求める意見書について                |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 総務 |    |
|        | ○                                    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ×  | ○  |

※ 石川議長は採決に加わっていません。

## 【8月25日提出・9月定例会後の継続審査(12月定例会で議決予定)】

|        |                                   |      |      |
|--------|-----------------------------------|------|------|
| 議案第51号 | 令和2年度鯖江市一般会計歳入歳出決算の認定について         | 決算特別 | 継続審査 |
| 議案第52号 | 令和2年度鯖江市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 決算特別 | 継続審査 |
| 議案第53号 | 令和2年度鯖江市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について  | 決算特別 | 継続審査 |
| 議案第54号 | 令和2年度鯖江市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について   | 決算特別 | 継続審査 |
| 議案第55号 | 令和2年度鯖江市総合開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について   | 決算特別 | 継続審査 |
| 議案第56号 | 令和2年度鯖江市水道事業会計決算の認定について           | 決算特別 | 継続審査 |
| 議案第57号 | 令和2年度鯖江市公共下水道事業会計決算の認定について        | 決算特別 | 継続審査 |
| 議案第58号 | 令和2年度鯖江市農業集落排水事業会計決算の認定について       | 決算特別 | 継続審査 |



## 【次回】 第432回 12月定例会日程(予定)

新型コロナウイルス感染症予防のため、議員席・理事者席の一部にアクリルパネルを設置するとともに、傍聴席は、間隔をあけてお座りいただくなどの対応をとっております。

来場の際はマスクを着用していただき、発熱等体調不良の場合は、傍聴をご遠慮ください。

| 日 付       | 会 期 日 程                                | CATV放送予定           |
|-----------|----------------------------------------|--------------------|
| 11月24日(水) | 10時 本会議(決算審査報告・採決、提案理由説明)              | 生放送                |
| 25日(木)    |                                        | 18時 再放送(11/24本会議分) |
| 12月 6日(月) | 10時 本会議(質疑、代表質問・一般質問)                  | 生放送                |
| 7日(火)     | 10時 本会議(一般質問)                          | 生放送                |
| 8日(水)     | 10時 本会議(一般質問)                          | 生放送                |
| 9日(木)     | 9時30分 常任委員会                            |                    |
| 10日(金)    | 9時30分 常任委員会                            |                    |
| 13日(月)    |                                        | 18時 再放送(12/6本会議分)  |
| 14日(火)    | 10時 公共交通整備特別委員会<br>13時30分 議会等改革推進特別委員会 | 18時 再放送(12/7本会議分)  |
| 15日(水)    |                                        | 18時 再放送(12/8本会議分)  |
| 17日(金)    | 10時 本会議(委員長報告・採決)                      | 生放送                |
| 21日(火)    |                                        | 18時 再放送(12/17本会議分) |

※ 進行状況により時間の変更が生じる場合があります。

※ 委員会のCATV放送はありません。

## あなたの写真で表紙をかざってみませんか！



### 今回の応募作品の一部



中村 裕美さん



K・Eさん



### 応募する写真

鯖江市内で撮影された人物・風景・行事などの写真  
(被写体となった方の承諾を得て応募してください。)

### 応募方法

お名前、連絡先、写真の撮影場所をご記入の上、議会事務局へEメールか、郵送、またはご持参ください。

### 次号の応募締切

1月31日(月) ※令和4年2月25日発行号に掲載

## 編集後記

立冬、小雪、大雪と二十四節気が本格的な冬の訪れを教えてくださいますが、大雪の次候には、寒く厳しい冬を乗り越えるべく、熊が穴にこもるころを指す「熊蟄穴」(くまあなにももる)という季節のこよみがあります。昨年度の冬は、熊の大量出没と突然の大雪に、多くの人が大変な思いをしました。今年は、コロナ禍で大変な我々に、熊と雪は、ほどほどを願うばかりです。

引き続き広報委員会では、見やすい紙面を目指して取り組んでまいります。皆さまのご意見をお待ちしております。

副委員長 江端 一高

発行：鯖江市議会 ☎ 53-2249  
E-Mail  
SC-Gikai@city.sabae.lg.jp

### 編集：広報委員会

委員長 林 下 豊 彦  
副委員長 江 端 一 高  
委員 奥 村 義 則  
委員 帰 山 明 朗  
委員 佐々木 一 弥  
委員 大 門 嘉 和

今号は、9月定例会の内容を掲載しており、発行時の状況と一致しない場合があります。